

教育は「愛」と「夢」

令和7年10月に教育長に就任して以来、諸事業に関わってお会いする町民の皆様方からの激励やご支援をいただき、不十分ながら教育長職を務めさせていただいております。このことに改めて感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございます。

そこで、私から教育についての思い、抱負を述べさせていただきたいと思っております。

（教育の根幹をなす子どもと教師の信頼関係）

- 「教育は人なり」教師と子どもの信頼関係は学校教育の基本。子どもが「先生が好き」「一緒にいたい」と思っている先生は保護者の方も信頼を寄せてくださっている。このような愛情豊かな先生のもとで、子どもたちはのびのびと育っていく。本町の課題である「不登校」「学力」の改善を考えると、このことは何よりも大切なことであり近道でもある。
- 先生がはつらつとして、愛情豊かに子どもと接することができるように環境を整備していく。指導よりも支援、サポート体制を充実したい。
 - ・教師は「子どものために」と決心して教師を志した貴重な人材。
 - ・子どもが嬉々として、目を輝かせて、夢中になって学んでいる姿に無上の喜びを感じている。
 - ・悩んでいる、暗く沈んでいる子を放っておけない、寄り添って励まし、少しでも元気付けたいという教師本来の姿を実感してもらえよう、その妨げとなっているものを少しずつ丁寧に取り除いていく。

（優れた教師集団を構築するために「教育委員会」のイメージを変えていく）

- 優れた教師集団を構築するためのキーマンは校長、教頭である。教育のスペシャリストである管理職は、みなそう考えて献身的に努力している。
- 校長、教頭に思う存分に手腕を発揮してもらえようようにすることが担任をはじめ教育の結節点で奮励努力する教師の教育活動を活性化させ、ひいては子どもへの確かで豊かな教育へとつながっていく。
- 各学校を指導する立場にある教育委員会ではあるが、大きな方針を示した上で、各校の実情に合わせて特色ある教育活動を豊かに展開してもらえよう手厚く寄り添い全力でサポートしていく。さらに管理職も教職員との信頼関係が第一であるということに重きを置き、誰もが本音が言える風通しのよい職場を実現する。みんなが運命共同体という意識を持ち、力を合わせて「宝」である松伏町の子どもを育てていく。

（子どもを主役に ― 連携協力が大きな力となる ― ）

- 子どもを中心に、学校、家庭、地域のみなさんが手を携えて豊かな学びを実現していく。
 - ・子どもの思いが学びに生かされる主体的、対話的で深い学びの実現
 - ・保護者、地域人材参加型の学び ※地域に開き、地域全体で支える教育
- そのために町校長会、教頭会、教育研究会が更なる信頼関係を構築し、思いを一つにする（「五校は一つ」）ことで活性化を図る。
- 保幼小中高の連携協力を図ることで息の長い学びにつなげ、さらに、生涯にわたって夢を追い続けられるよう、点としての学びから線としてとらえることで子どもの未来へとつなげていく。（縦の連携）
- 教育、文化、福祉、子育て等関係教育行政機関や、町PTA、各文化スポーツ団体との連携協力を図り、線の学びから面として支えることで豊かで潤いのある学びを実現していく。（横の連携）

（生涯を通じて― 学び、スポーツ・芸術・文化に親しみ、次代につながる ― ）

- 誰もが学校教育にとどまらない切れ目のない学びの機会と生きがいを楽しむことができる。
- 地域で大切に育てられた子どもたちは、生涯学習を通して成長し、いつの日か次の世代の若人を成長させる力となる。

私は、**教育は愛と夢**だと思っています。確かに指導技術や経験も大切ですが、そのすべての根底に深い教育愛がなければ成り立たない尊い営みです。さらに、子どもは未来そのものであり、未来に向かって夢を叶えられるよう全力でサポートしてまいります。私は、何があってもこの理想の旗を降ろすつもりはありません。皆さんと夢を共有し、力を合わせてその実現に向けて取り組んでまいります。

皆様の一つ一つのご支援が、若者たちの力となり、必ずや一人ひとりの夢の実現に、さらに町の活力と潤いを生み出すことにつながっていくものと信じています。どうかこれからも、町の教育活動への格段のご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。